

# 認知症ライフパートナー 検定試験

試験会場：札幌・仙台・東京・名古屋  
大阪・岡山・福岡・熊本

認知症ライフパートナーとは、  
認知症の人のこれまでの人生や生き方、  
価値観を尊重し、その人らしく日常生活が送れるように、  
認知症の基礎知識とコミュニケーション能力をもち、  
本人や家族に寄り添って、  
サポートできる人のことです。



2023年度  
夏期試験日

3級 2級

受付締切 6/12 (月)  
7/16 (日)

2023年度  
冬期試験日

3級 2級 1級

受付締切 11/16 (月)  
12/10 (日)

受験料：3級 6,500円 / 2級 10,500円 / 1級 15,000円

受験資格：[2・3級] 学歴・年齢・性別・国籍による制限はありません。[1級] 認知症ライフパートナー 2級合格者

- 1級は冬期のみ、札幌・東京・名古屋・大阪・福岡会場で実施。
- 公式テキスト等の関連書籍は、当協議会ホームページや、大手書店などで購入できます。

認知症 検定

検索





# 認知症ライフパートナー検定試験 3つのメリット

認知症ライフパートナー検定試験の導入による  
取得メリットをご提案いたします。



## 1 現場で役立つコミュニケーション手法が身につく

介護やリハビリの資格を持ち、現場で活躍されている専門職の方でも、認知症の患者さんとの接し方に苦勞される話をよく耳にします。この検定の学習を通じて、うまくコミュニケーションをとる手法を学ぶことができます。

## 2 介護やリハビリの専門職に適した知識を学習できる

検定試験の公式テキストの執筆者には、介護やリハビリ分野の先生方に多く入っていただいています。専門職として、今まさに学ぶべき認知症の知識にフォーカスして学習することができます。さらに、検定試験を受けることで学んだ知識の確認ができ、資格も取得できます。

## 3 実践的なアクティビティを学び、活かすことができる

認知症ライフパートナー検定の一番の特徴は、「アクティビティ・ケア」を学べるところにあります。公式テキストには、料理、園芸、音楽、手工芸など、さまざまな種類のアクティビティの実践例が掲載されています。実際に施設等でどう実施したらよいか、そのヒントを学び、活かすことができます。

### 当協議会へ寄せられた声

同じような認知症の検定がいくつかあるが、作業療法士の先生の監修した事例が多く載っているのが、頭に入ってきやすかった。

40代 男性 作業療法士



認知症の人と接する時に、どうしたらよいか分からず戸惑うことがあったが、テキストの内容を参考にして、自信をもって対応できるようになった。

20代 女性 理学療法士



公式テキストの内容を参考にして、実際に自分の施設でも、音楽と園芸のアクティビティ・プログラムを実施してみました。利用者さんにとっても好評でした。

30代 女性 介護福祉士



「認知症ライフパートナー検定試験」についてご興味のある方には、更に詳しい資料をご送付いたします。同封の資料請求書をご郵送・FAXいただくか、当協議会ホームページよりお申込みください。お電話でも受け付けております。お気軽にお問合せください。



一般社団法人  
日本認知症コミュニケーション協議会 検定事務局

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-25-3 アーバン幡ヶ谷2F

TEL.03-5388-4134  
FAX.03-3370-8061 <https://www.jadec.jp>